

一利府町ゼロカーボンシティ宣言一

6月は「環境月間」です

6月5日は環境の日です。

6月の「環境月間」期間中は、全国で環境について考える様々なイベントが行われています。

町では、「利府町ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、利府町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定することとしており、「安心して暮らし続けられるまち」を次世代に引き継いでいくため、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指します。

◆ 一人ひとりができることから始めてみよう ～ごみの減量化～

家庭から出される「ごみ」も、分ければ「資源」に生まれ変わります。

ごみを分別することで、焼却施設で燃やすごみの量の減少や限りある資源を再利用することができます。また、焼却施設や最終処分場の延命、森林保全や地球温暖化対策等の環境保全にもつながります。皆さんの取組が重要です。ごみ分別や減量化に努めましょう。

ごみ減量のポイント

- ①ごみになるものを最初から受け取らない
(レジ袋の削減として、エコバックを利用する。)
 - ②可燃ごみとして出していた紙資源を資源物として分別する
 - ③生ごみの水切りをきちんとする など
- ▶可燃ごみが減量されると、毎回のごみ出しが楽になり、環境にもやさしく、利府町全体のごみ処理の負担も軽減されます。

◆ 令和4年度ごみ・資源回収量と処理費用



町内から出るごみの処理費用の総額は・・・**3億5,930万円**

町民1人当たりが1年間に支払っているごみ処理経費は・・・年間10,017円/人

令和4年度の家庭ごみ処理費用
(収集運搬費を除く)

1億5,916万円

(1kg当たり約18円)



牛乳パック
(30g)



残さず食べる
(ごはん一口10～20g)

ごみを毎日1人30gずつ
減らしていくと…

年間で

**約252万円の
費用削減!**

皆さん一人ひとりの取組が大きな効果になります。
これからもごみ分別や減量化に努めましょう。

／ 電気代が上がっている今だからこそ ／

太陽光パネルや蓄電池を みんなで購入しませんか？



みんなの
おうちに
太陽光

宮城県は、再生可能エネルギー推進の一環として、住宅向け太陽光パネル・蓄電池の共同購入事業を開始しました。この事業は、設備の購入希望者を募り、一括して発注することで太陽光発電設備をお得に購入できる仕組みです。無料の参加登録をすると、ご自宅に設備を導入した場合の見積りが確認できます。
※参加登録だけで購入が決まることはなく、見積りを見てから判断していただきます。

登録から購入までの流れ

一かんたん手続きー

まずは
無料登録！



※参加登録期間は延長する場合があります。

※調査には3,000円の費用がかかります。(契約される方はお支払い代金に充当いたします。最終的に契約されない方にはお返しいたします。)

<問い合わせ先>

- ・「みんなのおうちに太陽光」事務局 ☎0120-728-300 午前10時～午後6時(土・日曜日、祝日を除く)
- ・宮城県再生可能エネルギー室 ☎022-211-2655

参加登録は
コチラから



◆ ゼロカーボンに向けて家庭でできること ◆

● 宅配ボックスや置き配の活用で再配達を減らす

宅配ボックスや宅配業者のお届け通知サービスを利用することで、再配達にかかる二酸化炭素の排出を抑制するだけでなく、宅配配達に係る労働力不足の解消にもつながります。

● 家庭や飲食店での食品ロスを減らす

食べきれない量を買う・注文する、フードバンク(自宅にある使わない食品を必要としている人につなぐ役割)に寄附することで食品ロスを減らし、必要な分だけを購入することで食費の節約にもつながります。

詳しくは環境省のホームページへ

ゼロカーボンアクション 30



● CO₂排出の少ない交通手段を選ぶ

自動車のCO₂排出量は、家庭からのCO₂排出量の約1/4を占めます。近い距離はできるだけ歩いたり、公共交通機関などの移動手段を選ぶほか、急発進を抑えるエコドライブを心がけることでCO₂排出量の削減だけでなく、燃料代も削減することができます。

● ごみは分別して集積所へ捨てる

ごみを可燃・資源・不燃・ペットボトルなどきちんと分別して捨てることで、焼却施設で燃やすごみの量が減り、焼却時に排出される二酸化炭素の削減につながります。また、例外を除き、**野外焼却(野焼き)は絶対にやめましょう。**

